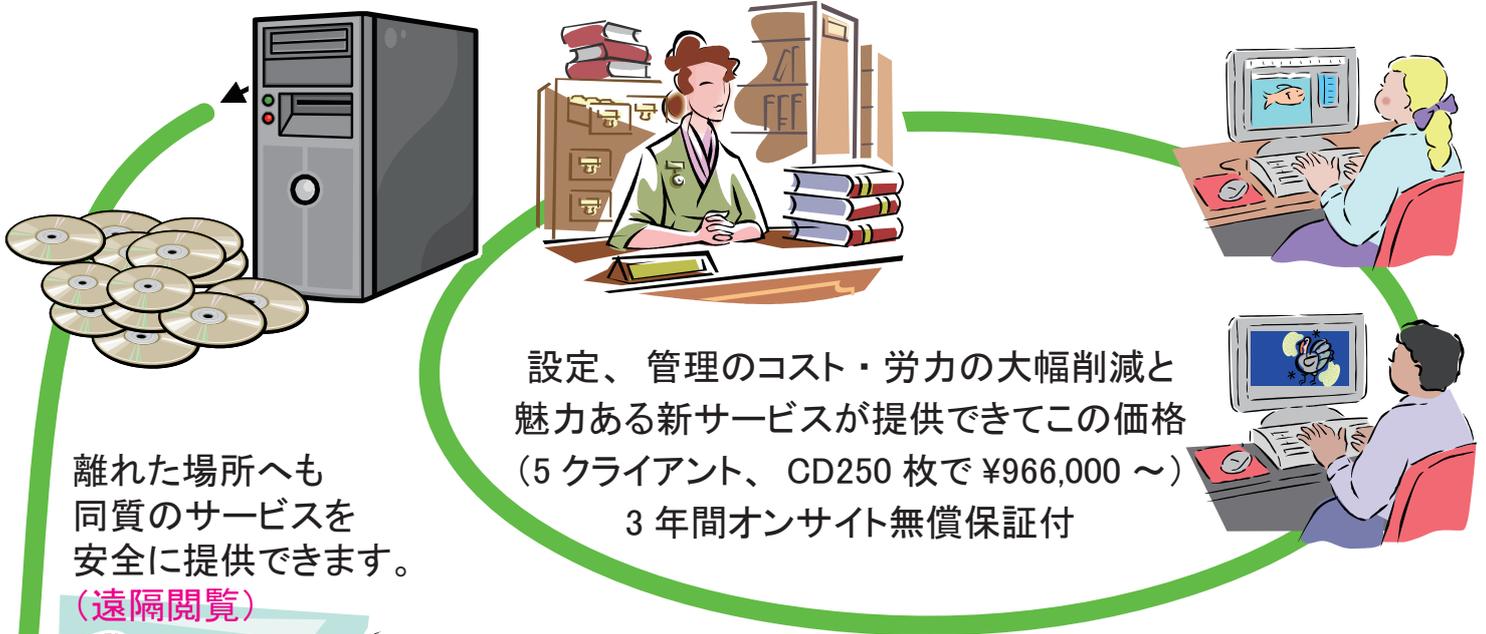


電子図書閲覧の革新的ブレークスルー

CD・DVD コンテンツ活用の新たな可能性を切り開いた
レクサス『シンクライアント方式 CD・DVD サーバ』



新規 / 更新を問わずあらゆる用途にベストフィット！
(特にチェンジャからの更新では目覚ましいコスト / 性能を発揮)

□ シンクライアント方式 CD・DVD サーバの概要

1. サーバの高性能化とソフトウェア技術革新により、これまでの管理者用リモートアクセス中心から本格的なサーバベース・コンピューティング(シンクライアント方式)が可能となりました。
2. 機能強化されたターミナルサービス (RDP:Remote Desktop Protocol) と弊社管理ソフトウェア (コンテンツマネージャ) により、高価なミドルウェアを使用せずに CD・DVD アプリケーションの集中管理と軽快かつ実用的なシンクライアント化が安価に実現します。
3. Windows Server 2003 R2 搭載の最新高性能サーバ採用、信頼性と継続性が保証されています。
4. シンクライアントは PC 機種を選ばません (お客様ご用意: 98/XP など古い PC も OK)、Mac からも使えます。
5. 5 クライアントライセンスから 25 クライアントライセンスまで 3 機種ご用意。高価なミドルウェアを使用しない独自開発だから 3 年間オンサイト無償保障がついて ¥966,000 (5 クライアント) ～ ¥1,932,000 (25 クライアント) と廉価。
6. サーバの支給を受けて組み込むこともできます。また、コンテンツのプリインストールサービスをご利用になれば、クライアントを接続するだけのプラグインでご使用になれます。

など、従来のクライアントでアプリケーションが動作する方式 (クライアントベース) に比べて、革新的進歩を遂げた製品です。

□ シンクライアント方式 CD・DVD サーバの特長とメリット

1. すべてプリインストールされているのでターンキーで使用できます。しかも管理ソフトウェア (コンテンツマネージャ) にはウィザード機能と本格メニュー機能が搭載されていますので特別な知識なしでコンテンツの組み込みができます。また入れ替え、追加など日常の運用が容易です。
2. 何よりもうれしいのは、サーバ 1 台にインストールすれば、それがシンクライアントすべてに反映されるため、導入時の労力と導入後の管理の手間が大きく軽減されることです (クライアント管理が不要)。
3. クライアントにはデータが一切残らないので情報漏洩の心配はありません。またアプリケーションは全てサーバで動作するので、クライアント側はウイルス混入などサイバー攻撃の心配もありません。
4. 本システムにおいて館内閲覧と同時に実用化された図書館間での「遠隔 (相互) 閲覧」(※1) は、著作権切れ資料が対象となる Web 閲覧などとはちがって、使用者が特定できるため著作権管理が可能であり、館内閲覧の延長で許諾を受けて使用できます。

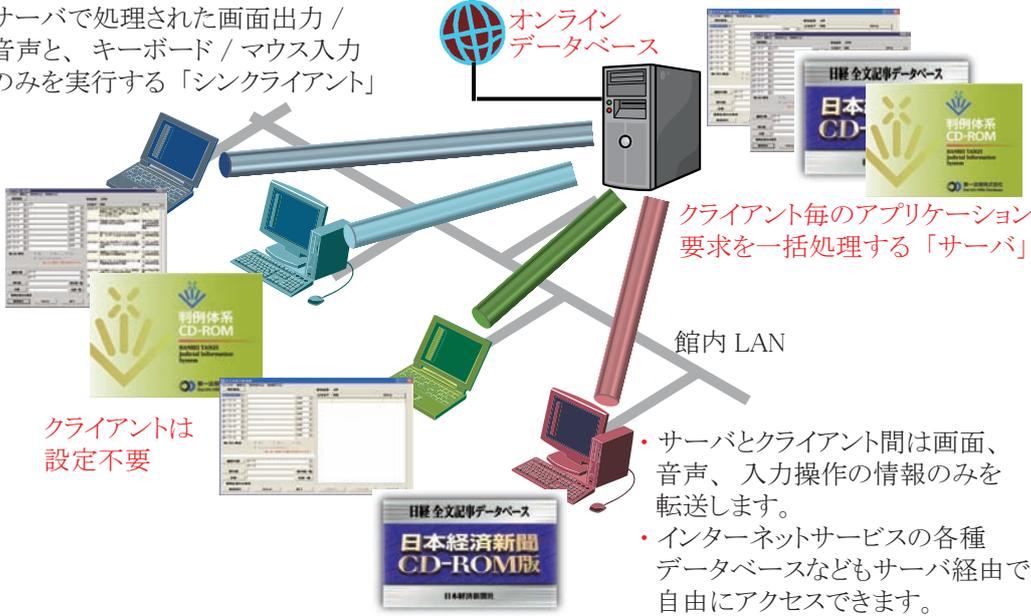
など、これからの電子図書閲覧の切り札となります。

(※1) シンクライアント化が実現したことで VPN を使用した図書館間での相互閲覧が安価かつ容易に実現します。

シンクライアント方式はクライアント管理が不要！

サーバで処理された画面出力 / 音声と、キーボード / マウス入力のみを実行する「シンクライアント」

オンラインデータベース

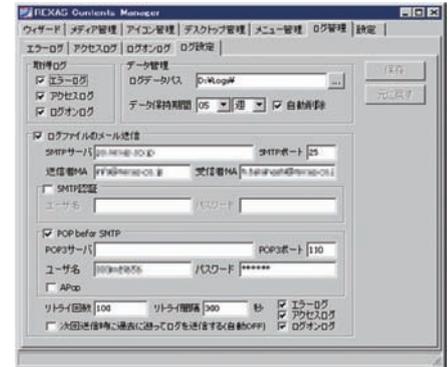


独自の技術でシンクライアント化を実現したコンテンツマネージャ

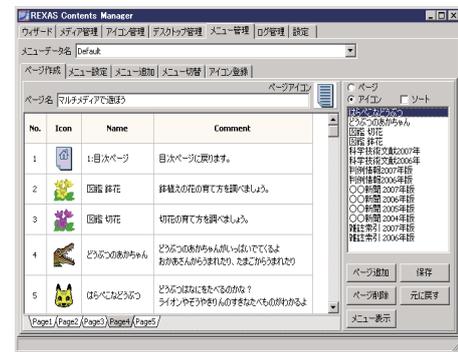
(インストールのウィザード)



(多彩なアクセスログ設定)



(メニュー作成)



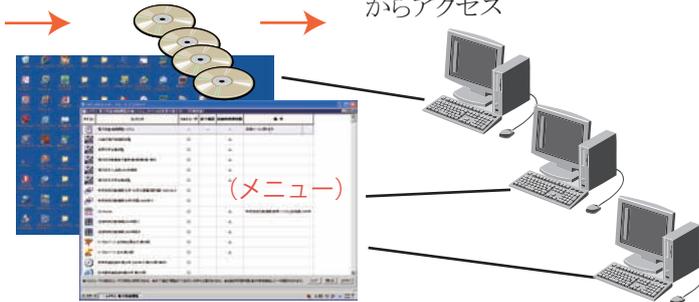
設置、インストールが簡単！

設置



コンテンツをサーバにインストール (インストールはサーバのみ)

ターミナルサービスに接続してメニューもしくはデスクトップからアクセス



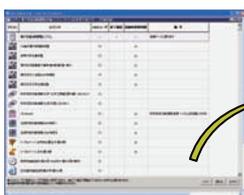
本来は手ごわい Windows サーバですが、プリセットされているので使い慣れたクライアントの感覚で使い始めることができます。(サーバ支給も OK)

ウィザードが用意されているので特別の知識がなくても作業できます。マルチユーザ化の処理が施されたアイコンが自動生成されてサーバの仮想クライアントのデスクトップに貼り付けられますので、そこから起動します。またメニューも連携して作成できます。

クライアントの「ユーザ」は、あらかじめサーバ側に生成されていて、設定も行われているので接続するだけで使用できます (クライアントの設定は不要)。

ライブラリ装置 (チェンジャ) を完全にエミュレートします

(メニュー)



(アプリケーション)



- CD・DVD (データとアプリケーション) は仮想ライブラリ (サーバの HDD) 格納されています。
- メニューをクリックすることにより、該当アプリケーション (閲覧ソフト) の起動準備と動作環境構築が行われます。
- アプリケーションとデータが入っているメディア (HDD 内の CD・DVD イメージ) を仮想ドライブにマウントします。
- 仮想ドライブからアプリケーションを起動します。
- アプリケーションが仮想ドライブにアクセスします。

- ライブラリ装置のかわりにサーバのハードディスクにイメージ (仮想 CD) 化されたメディアのデータ

自由に接続できる体験用システムが設置されています

従来方式からの飛躍的進歩と有効性を体験してください。以下の内容をその場で確認いただけます。

- お客様クライアントを RDP で接続するだけで使用できます (設定やインストールは一切不要)。
- 全てサーバで処理されるため、クライアントでのデータコピー、漏洩やウイルスなどの侵入の心配がありません。
- 館内だけでなく離れた施設にもサービスを提供可能。
- オンラインデータベースとあわせてサーバ側に一本化できるので一切のクライアント管理から解放されます。
- インターネットを利用するので通信費用はかかりません。

レクサス「シンクライアント方式 CD・DVD サーバ」によるこそ

シンクライアント方式なら館内はもとより地域の別の図書館に対して、同一の閲覧サービスを簡単に提供できます。

【メリット】

1. 拠点となる図書館に設備とコンテンツを集約、重複投資が不要になる分を別の図書館用のライセンス追加やコンテンツの充実に回せます。
2. 今ある資産の有効活用 (初期費用だけで継続的に利用できます)
3. 端末 (クライアント) は接続するだけ (インストール、設定不要)
4. オンラインデータベースを含めて全ての閲覧サービスをサーバに一本化できるので運用管理が容易になります。
5. 利便性向上 (地域全体の図書館施設の利用価値が向上します)
6. 低コスト (外部端末1台あたり ¥1,000/月)
7. ブラウザライクなユーザインターフェース (準備中)

地域内、全国の拠点間の相互運用が実現します

図書館 学校・病院 など

市立/町立図書館 サテライト 研究室 自宅

インターネット V.P.N.

本システムにインストールされている全てのコンテンツおよびデータは、本システムの動作を試験的に確認する目的にのみ供されるものであり、それ以外のいかなる目的にも使用することはできません。

以上の条件に同意していただけるお客様のみご使用をお願いいたします。

同意して使用する 今回は使用しない

例外を除いて今お持ちのコンテンツ (CD・DVD) のライセンスでスタートできます (利用状況に応じてライセンスを追加してください)

閲覧サービス拠点 (A 図書館)

接続方法は弊社ホームページでご案内しています。

<http://www.rexas.co.jp/dvts/index.php>

または

<http://www.rexas.co.jp/dvts/evaluation.pdf>

お問い合わせは

TEL:046-392-5571

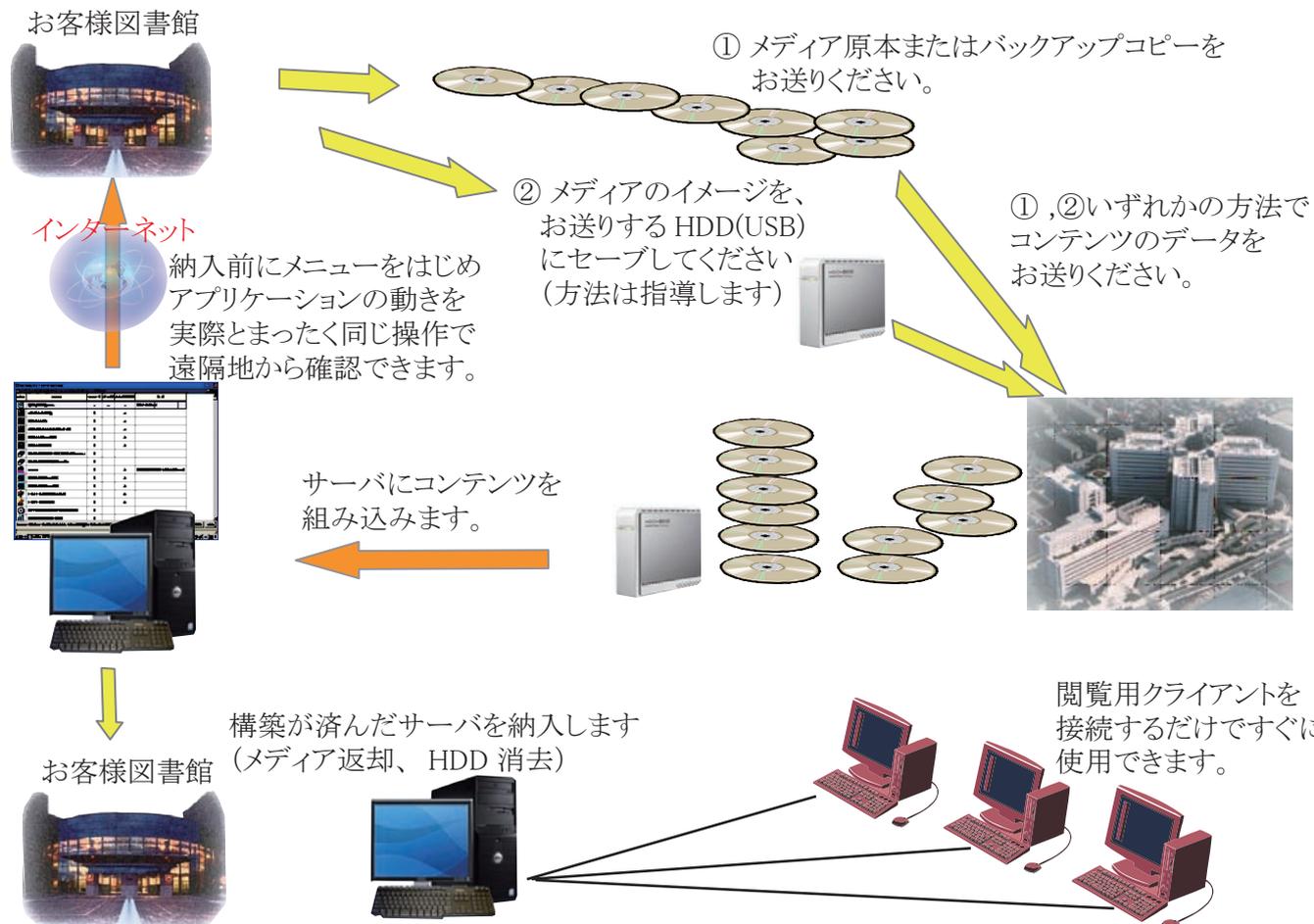
FAX:046-392-5572

e-mail : info@rexas.co.jp

までお気軽にどうぞ。

コンテンツの一括組み込みサービスを行っています。お客様はクライアントを用意して待つだけ。しかも設置 (標準作業) は1日でOK!

これも「クライアントにアプリケーション不要」の「シンクライアント方式」の登場ではじめて可能となりました。



製品名/モデル	シンククライアント方式 CD・DVD サーバ					
	5クライアントモデル(注1)		10クライアントモデル(注1)		25クライアントモデル(注1)	
型名	RAIDなし	RAID1	RAIDなし	RAID1	RAIDなし	RAID1
	DVTS50	DVTS50R	DVTS100	DVTS100R	DVTS250	DVTS250R
CPU	Pentium®プロセッサ-E2180 (2GHz/1MB L2 キャッシュ/ 800MHz FSB)または相当品		Core®2Duo プロセッサ E7300 (2.66GHz/3MB L2 キャッシュ/ 1066MHz FSB)または相当品		Xeon® プロセッサ X3330 (2.66GHz/6MB L2 キャッシュ/ 1333MHz FSB) または相当品	
メモリ	1GB SDRAM		1GB SDRAM		2GB SDRAM	
HDD(SATA II) 7,500rpm、3.5 インチ	160GB×1	160GB×2 (RAID1)	250GB×1	250GB×2 (RAID1)	250GB×1	250GB×2 (RAID1)
ネットワーク	10/100/1000BASE-T (10/100/1000Mbps 自動切替)					
CD・DVD	SATA DVD-R/RW ドライブ					
適合シンククライアント端末	Windows ターミナルサービスで接続できるものなら何でも使用可					
フロッピーディスク	内蔵フロッピーディスクドライブ					
オペレーティングシステム (別途ターミナルライセンス要)	Windows Server(TM) 2003 R2 Standard Edition with SP2 日本語版					
搭載ソフトウェア	5CAL		10CAL		25CAL	
主な機能	<p>コンテンツマネージャ(登録、削除、入れ替え、メニュー作成がウィザードのできる総合管理ソフトウェア)</p> <p>Windows Sever2003 のターミナルサービスに専用の総合管理ソフトウェア(コンテンツマネージャ)を組み込むことにより、CD・DVD に特化した本格サーバベースシステム(シンククライアントシステム)を構築する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 出荷時の状態では来館者用(User××)、司書用(Librarian)、管理者(Manager)の 3 つのユーザが定義されていて、アクセス権限などそれぞれの設定が行われている。シンククライアントからはユーザ名とパスワードで一つのユーザに複数ログインでき、それぞれが独立したセッションで作業できる(マルチユーザ)。 CD・DVD コンテンツはコンテンツマネージャによりフォルダ化もしくは仮想化され、そこからインストールされてデスクトップにマルチユーザ化の処理が施されたアイコンが自動生成される。このアイコンの働きによりコンテンツは複数ユーザからの同時使用が可能となる(同時使用数の設定可)。このアイコンは単独でも使用できるが、一般に図書館などではコンテンツマネージャのメニュー機能からリンクされて使用される。 データおよびそのデータをアクセスするアプリケーションは、サーバのみに存在し、Windows Server 2003 R2 のターミナルサービスを使用して各クライアントから操作される。シンククライアントとは、このターミナルサービスのプロトコルである RDP (Remote Desktop Protocol) で接続されるクライアントのことを指す。 各コンテンツは、本システムにより、ユーザ毎に独立した動作環境(独自環境)を構築して動作させた結果の振る舞い(動作可否)に応じて「システムレベル」(シングルユーザ OK、マルチユーザ NG)、「ユーザレベル」(独自環境構築によるマルチユーザ OK)、「フリーレベル」(フリーラン状態でのマルチユーザ OK)の 3 つのいずれかで管理される。(注 2) オンラインデータベースとの統合をはじめ、あらゆる検索サービスを本システムに一本化できる。 					
ライセンス管理	コンテンツごとに同時アクセス数を設定できる					
アクセスログ	コンテンツごとにアクセスログ(CSV)および日、週、月の統計が取れる、標準フォーマットでの印刷も可能					
出荷時オプション	テープ装置	20/40GB Travan 40 IDE 内蔵ドライブ または DAT72 内蔵テープドライブのいずれかを選択				
	ハードディスク	250GB または 500GB に変更できます				
サイズ	445mm×167.6mm×457mm(高さ×幅 ×奥行)					
重量	17.7 kg(最大構成)					
電源	AC 100-120V 305W					
付属品	17 インチ TFT 液晶モニター、109 日本語キーボード、USB 光学マウス、リカバリ DVD、マニュアル、保証書					
保守サービス	3年間翌営業日対応オンサイト無償保守サービス(延長可)、また別途ご要望に応じたサービスプラン設定可能					

- ※1. 技術革新等により、CPU などのハードウェア仕様は出荷時期により、ここに掲げられているものとは異なる場合があります。
- ※2. この資料で画面が例として引用されているコンテンツ(科学技術文献速報、日経新聞記事全文検索、判例体系 CD-ROM)は、いずれも所定のライセンスを取得した上で使用できます。
- ※3. 一般に各コンテンツは、複数のクライアント(またはユーザ)で使用する場合は発売元からライセンス(使用許諾)を受ける必要があります。
- ※4. 仮想ドライブの数は現在 30 までです。一般にユーザ数分(5~25)の仮想ドライブを使用しますが、コンテンツによって 30 以上の仮想ドライブが必要となった場合は、コンテンツマネージャでイメージをフォルダに展開しなおすことによりネットワークドライブにマウントして使用可能。
- ※5. 本機は Windows Server 20003 を使用していますが、専用機として設定済みですので特別の知識は必要なくターンキーで使用できます。(注 1)各機種種の「クライアント数」は、本システムに同時ログオンできるユーザ数のことであり、その範囲でどのクライアントからでも使用できます。(注 2)コンテンツマネージャでは、ユーザ(クライアント)ごとに独立した実行環境を自動生成しますが、最終的にそのコンテンツのマルチユーザ使用の可否はコンテンツ自身に依存します。

☆確認されているコンテンツについての情報は弊社ホームページに掲載されています。なお弊社での確認ができていなくても、これまでの実績から、例外を除いてほとんどのコンテンツは、コンテンツマネージャでユーザごとに独立した実行環境を構築する「ユーザレベル」の設定でマルチユーザ使用が可能です。

☆サーバを支給していただいてシンククライアントシステムを構築することも可能です。

☆弊社でのコンテンツを一括インストールしての納入もご相談承ります。その場合、お客様ではクライアントを接続するだけでご使用になれます。